

震災対策整備事業

1 地震について

地震の発生要因には内陸直下型と海溝型の2種類があります。堺市に甚大な被害を及ぼす可能性のある地震としては、内陸直下型として上町断層地震と、海溝型として東南海・南海地震があります。



阪神淡路大震災
平成7年1月17日



東日本大震災
平成23年3月11日

2 課題について

地震が発生した場合には、火災や津波などにより大きな被害になります。その中でも火災の対応については、被害を最小限に抑える上で非常に重要です。消防局では、地震発生後に参集した消防職員により、1件でも多くの火災対応ができるよう小型動力ポンプの増強整備を進めると共に、津波や家屋倒壊などによる救助活動等で使用する資機材等の整備を進め、地震による被害を最小限に抑えるよう体制強化を図るものとしています。



小型動力ポンプ
(活動イメージ)



救助活動用資機材 (例)
(地震災害時)